



荒川をはじめ、江戸川、中川、綾瀬川といった大きな川が流れている本区では、区の将来像を「水と緑豊かな心ふれあう住みよいまち」と基本構想に定め、まちの財産である「河川」を活かした水と緑のまちづくりの推進を図っている。

中でも荒川は、広大な水辺空間とともに都内でも有数の自然環境を形成している貴重な河川であることから、多様な自然環境を整備し、地域の中で河川環境への関心を高め、荒川の自然を後世に残すため、本事業を行った。

計画にあたっては、「荒川を語るつどい」や沿川高齢者へのヒアリング等、住民との意見交換を多数行い、整備構想に反映させた。

整備にあたっては、動植物など豊かな自然環境を形成するための水源として、河川水、水道水等の活用ではなく、環境負荷のかからない自然の恵みである雨水の循環型を採用し、湿地、池、原っぱの地下に不透水層を設けることにより雨水を保水した。その結果、年間を通して水源が枯れることなく、現在では、多様な生物群落を

形成する一因となっている。また、昔なつかしい手押しポンプを取り付けた雨水井戸を設け、河川敷利用者が手洗いなどができるようにすることにより、雨水利用への関心を集めるように工夫している。



葛飾あらかわ水辺公園の「水路」で生き物とのふれあい



整備後：（夏）木道の上から、湿地生物や植物とを親しむ



整備後：大規模ワンド。川辺の生き物の繁殖の場となっている



DATA-7

- ① 東京都葛飾区西新小岩3-35から新小岩1-1地先まで
- ② JR総武線新小岩駅北口から徒歩12分
- ③ ・新小岩公園 ・江戸川競艇場
- ④ かつしかっこ探検隊、自然観察会、東京都の自然環境リーダー養成講座
- ⑤ 葛飾区役所建設部水辺と公園の課 TEL 03-3695-8431～8433